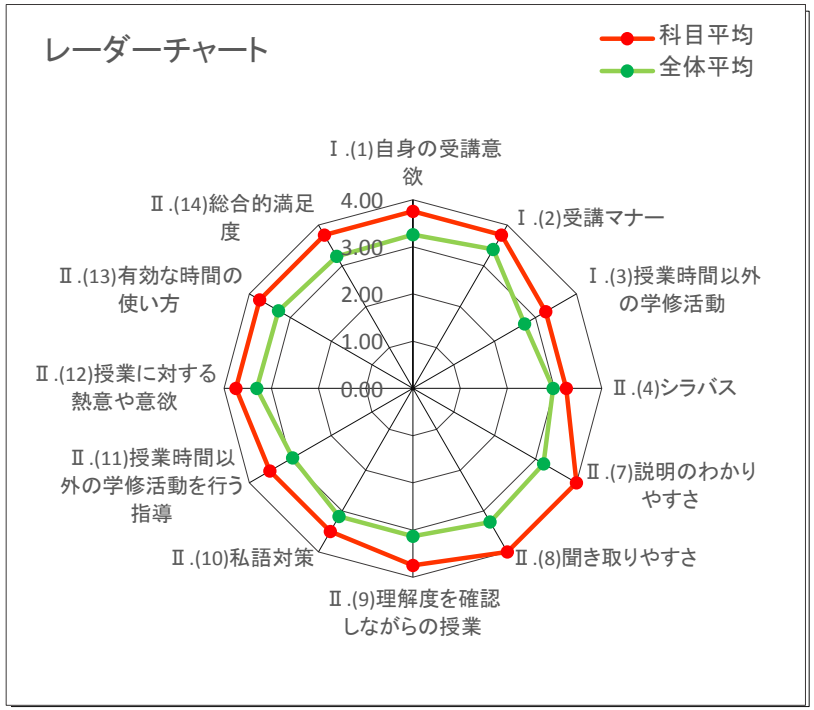
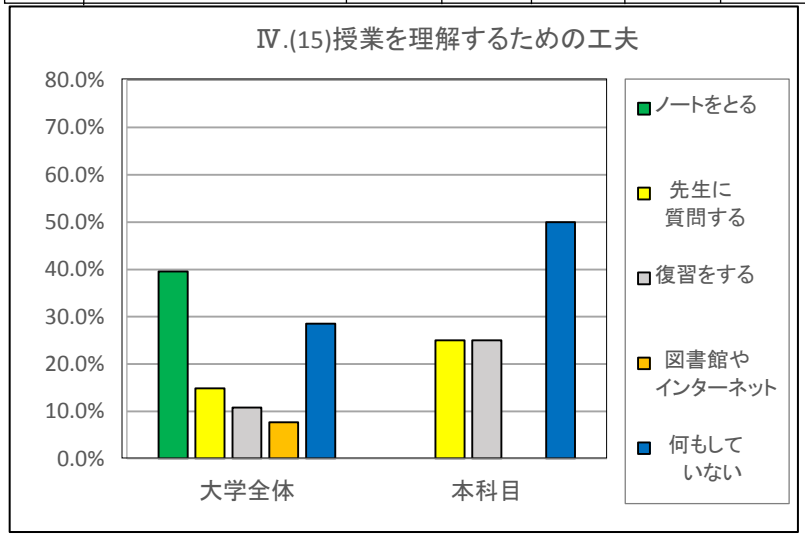
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.75	3.26
	Ⅰ.(2)	3.75	3.40
	Ⅰ.(3)	3.25	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.25	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	4.00	3.20
	Ⅱ.(8)	4.00	3.27
	Ⅱ.(9)	3.75	3.13
	Ⅱ.(10)	3.50	3.13
	Ⅱ.(11)	3.50	2.94
	Ⅱ.(12)	3.75	3.31
	Ⅱ.(13)	3.75	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.75	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.58	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.69	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.75	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	14301
科目名	基礎数学Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスについては、合同授業のシラバスであるため、それぞれの担当教員の個性が見えにくいが、授業中にシラバスを再度配布し、授業の目的を改めて説明することで理解を得ることができたと考える。授業の難易度については、評価平均値が2と3の間にあることから、全体としては特に難易度が高過ぎる、あるいは低すぎる授業ではなかったと判断している。

②授業の進め方について

授業の進め方については、少人数のクラスであることから、一人ひとりの理解度を把握し、場合よって学生ごとに異なった課題を出すことで対処することが可能であった。私語は皆無ではなかったが、少人数であるために個別的に注意することが可能であり、また注意の結果を確認することができた。これらの対処が、全体的な満足度の高さにつながっていると考える。逆に言えば、この授業において学生数が多い場合には個別的な指導が困難になり、指導の成果が上がらず、満足度も低くなることが予想される。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

この授業科目に関しては今回が初めての担当であり、改善計画について評価することはできないが、これまでに本授業科目を担当されてきた教員によって作成された自己管理シート（自習結果の記録用紙）などの工夫のおかげで、学生に対する学習への動機づけがしやすくなっていることは、特記すべきことであろう。本授業科目は、個々の履修学生の特異性が表に出てきやすい。特異性の型ごとに指導の仕方をさらに改良する余地があると思われる。

奈良学園大学